

豪州からのお客様を仙台近郊の被災地にご案内（2015.03.28）

うらかな春の日の午後、オーストラリアからのお客様1名を3.11の被災地である蒲生、荒浜、閑上に案内しました。ガイドは、グループGOZAINの須藤が担当しました。

12:30 被災地を案内してくれる語り部タクシーにて、仙台駅付近のホテルを出発。

まず、蒲生地区に向かい新たに建設された「避難センター」を視察。次に荒浜地区へ、津波に洗われ廃墟の様相を呈する荒浜小学校前を通り、海岸近くに建立された慰霊の観音菩薩像に合掌。井戸浜地区を経由して名取市閑上地区へ。日和山の慰霊塔、震災を伝える「閑上の記憶」にて被災状況、復興状況を見る。語り部タクシーから被災状況・復興の現状と見通しを判り易く教えて貰いました。15:30 仙台駅到着。無事案内を終了しました。



蒲生地区「避難センター」鉄骨造り、高さ10m、収容数200名。



荒浜地区の「荒浜慈聖観音」慰霊塔もそばに移設されている。お客様とガイド。



閑上中学校の生徒14名の犠牲者の慰霊碑を守るために建てられた中学校前の「閑上の記憶」。震災の記録も展示。



閑上日和山から見た被災地。密集した住宅地が、基礎だけを残す荒れ地に化している。